

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 5 月 29 日(2023.5.29)

【公開番号】特開 2022-190099(P2022-190099A)  
【公開日】令和 4 年 12 月 22 日(2022.12.22)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-236  
【出願番号】特願 2022-176744(P2022-176744)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 5 月 19 日(2023.5.19)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

制御手段を備える遊技機であって、  
前記制御手段は、

遊技の進行に関する制御を実行するための演算装置と、

前記遊技を実行するための所定の機能を有する電子部品と、を搭載し、

前記電子部品は、前記演算装置の制御に伴う各種入力信号及び出力信号を送受信可能な  
ロジック部品を含み、

前記ロジック部品には、前記遊技の進行を制御するための信号を出力可能な第 1 ロジッ  
ク部品と、前記遊技に関連する情報を表示するための信号を出力可能な第 2 ロジック部品  
とを含み、

30

前記制御手段には、前記演算装置が配置された領域を含む第 1 領域と、当該第 1 領域の  
外側に第 2 領域があり、

前記第 2 領域は、前記第 1 領域の外側の周囲を囲むように配置され、

前記第 2 領域には、当該遊技機の検査に用いる電子部品を配置可能な検査用部品実装領  
域が含まれ、

前記第 1 ロジック部品は、前記第 2 ロジック部品よりも前記検査用部品実装領域から離  
れた領域に配置され、

前記第 1 ロジック部品は、前記第 2 領域に配置されるとともに、前記第 1 領域に近い側  
に配置される

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

近年の遊技機では、複雑な遊技制御が要求されるようになっている。遊技の進行を制御  
する主制御基板には、遊技制御に必要な複数の電子部品が配置される（例えば、特許文献  
1 参照）。

50

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2018 - 023717 号公報

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

主制御基板に搭載する電子部品が多くなると、電子部品の配置（配線）によってはノイズが発生し、電子部品が誤作動を起こすおそれがあった。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記事情に鑑みなされたもので、主制御基板に搭載された電子部品の誤作動を抑制可能な遊技機を提供することを目的とする。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明は、以下の構成を採用する。

制御手段を備える遊技機であって、

前記制御手段は、

遊技の進行に関する制御を実行するための演算装置と、

前記遊技を実行するための所定の機能を有する電子部品と、を搭載し、

前記電子部品は、前記演算装置の制御に伴う各種入力信号及び出力信号を送受信可能なロジック部品を含み、

前記ロジック部品には、前記遊技の進行を制御するための信号を出力可能な第 1 ロジック部品と、前記遊技に関連する情報を表示するための信号を出力可能な第 2 ロジック部品とを含み、

前記制御手段には、前記演算装置が配置された領域を含む第 1 領域と、当該第 1 領域の外側に第 2 領域があり、

前記第 2 領域は、前記第 1 領域の外側の周囲を囲むように配置され、

前記第 2 領域には、当該遊技機の検査に用いる電子部品を配置可能な検査用部品実装領域が含まれ、

前記第 1 ロジック部品は、前記第 2 ロジック部品よりも前記検査用部品実装領域から離れた領域に配置され、

前記第 1 ロジック部品は、前記第 2 領域に配置されるとともに、前記第 1 領域に近い側に配置される

ことを特徴とする遊技機。

## 【手続補正 7】

10

20

30

40

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記構成では、主制御基板（主制御基板1310）上で演算装置（主制御MPU1311）の周辺に電子部品が配置されない領域（無実装領域6101）と、当該領域の外側にディスクリット部品を配置可能な領域（部品実装領域6102）とを形成し、さらに部品実装領域6102の外側には、集積回路等のロジックICが配置される領域（第2領域6200）が形成される。集積回路等のロジックICが配置される領域（第2領域6200）には、検査用電子部品が配置される領域（検査用部品実装領域6300）が形成されている。検査用電子部品は、検査機関による検査を受ける遊技機にのみ搭載されるが検査用部品実装領域内にデータバスなどのプリントパターンが設けられているため、ノイズがデータバスに誘起し誤動作を引き起こす可能性がある。そのため、遊技に影響を与える制御を行う第1ロジック部品（例えば、大入賞口を開閉するためのソレノイドを制御するための信号を出力するシリアル・パラレル変換回路1345）を検査用部品実装領域から離れた場所に配置することで誤作動を防止する一方、遊技の進行に影響を与えない制御のみを行う第2ロジック部品（例えば、LED表示を行うシリアル・パラレル変換回路1342等）については検査用部品実装領域に近い位置に配置可能とし、回路設計の自由度を高めている。

10

20

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の一形態によれば、上記課題を解決し、主制御基板に搭載された電子部品の誤動作を抑制することができる。

30

40

50